SSH NEWS

熊本北高等学校
SSH研究部

2025.11.27　北高SSHニュース　Vol. 375

熊本県公立高等学校理数科研究発表会
最優秀賞受賞！

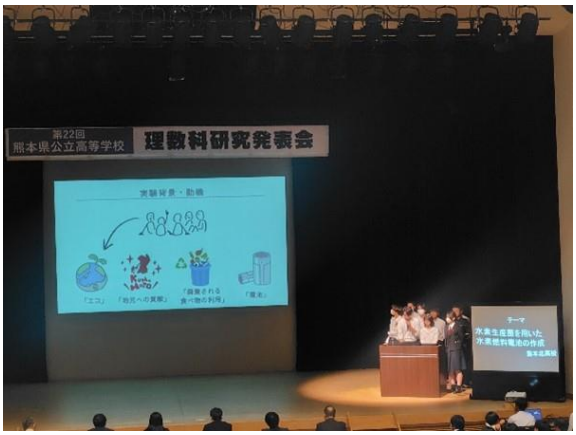

図1　発表会の様子

11月10日（月）令和7年度第22回熊本県公立高等学校理数科研究発表会が森都心プラザで行われました。県内公立高校理数科・理数コース5校の1、2年理数科の生徒が参加し、各校代表班が研究発表を行いました（図1）。本校からはARⅡ化学班9名が「水素生産菌を用いた水素燃料電池の作成」を発表しました。緊張しながらもこれまでの探究の成果をしっかりと発表し、質疑応答では、各校の生徒からの質問や審査員からの質問にも自分たちの言葉で答えているのが印象的でした。審査の結果、最優秀賞を受賞することができ、次年度8月に行われる中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会のステージ部門に出場します。

Kumakita Science Cafe ～How your eyes show you the world～

10月29日（水）の主体的な活動の時間に、脳・目・神経細胞を専門とされている Dr. Katelyn Sondereker 先生にご講演いただきました（図2）。Katelyn先生は現在、第二高校のALT（外国語指導助手）として勤務されており、これまでに学ばれてきた研究内容と、進路選択についての2点を中心にお話しいただきました。講演後は、生徒や職員が英語を駆使して積極的に質問を行っていました。

図2　サイエンスカフェの様子

SSH NEWS

第76回熊本県高等学校生徒理科研究発表会 自然科学部化学分野 最優秀賞受賞！

図3　自然科学部化学分野のメンバー

10月25日（土）に第76回熊本県高等学校生徒理科研究発表会が熊本学園大学を会場に開催されました。本校からは、化学部門、物理部門、生物部門に自然科学部の各分野から参加しました。そのうち、化学分野の『自作燃料電池の作成』が化学部門において、見事「最優秀賞」を受賞しました（図3）。初めての発表会で緊張しながらも、3Dプリンターで自作した燃料電池について分かりやすく発表していました。化学班は、2月に大分で開催される九州生徒理科研究発表会に県代表として出場します。

Japan Super Science Fair 2025に参加しました

11月3日（月・祝）に行われた、立命館高校主催「Japan Super Science Fair 2025」のポスターセッションに自然科学部3名が参加しました（図4）。オーストラリアやカンボジア、カナダなど20カ国・地域から200名以上の高校生が参加しており、プログラムの全てが英語で進行されました。本校自然科学部も日頃の研究内容をまとめ、ポスター発表を行いました。海外の高校生との交流を深め、有意義な時間を過ごすことができました。今後も英語による発表を積極的に行っていきたいと思います。

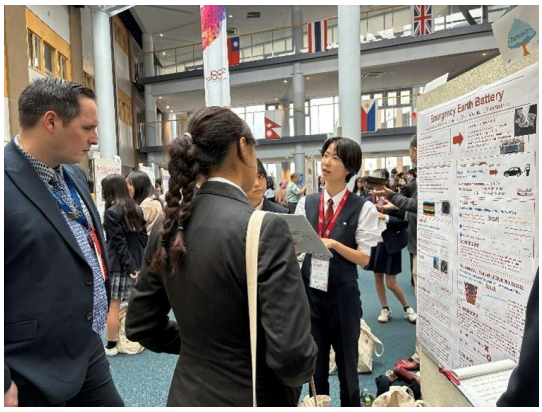

図4 ポスター発表の様子